

## ～令和2年度通常総会・臨時総会・理事会開催報告～

今年度は、昨今の新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会員皆様の書面による議決権行使へのご協力をいただき通常総会(7月27日)、臨時総会(10月6日)を無事、開催することができました。

通常総会では、令和元年度事業実績及び決算承認と令和2年度事業計画及び予算を報告し、臨時総会・第3回理事会においては、塩田鹿児島県知事が新理事長に選任されました。

また、塩田新理事長からは「新型コロナウイルス感染症の影響を受け、それぞれ皆さん厳しい状況だと思いますが、withコロナ時代に鹿児島県経済の今後の成長、更なる発展の基盤として、豊富な地域資源を発掘し、更に磨き、市場・販路開拓をしながら、更に付加価値の高い生産品目を開発していくことで、特産品協会の役割は重要になってくると思います。新しい良いものを作っていく、鹿児島の稼ぐ力を十分発揮していくために、皆様方と力を合わせて頑張っていきたい。」との力強い就任挨拶がありました。

新体制となった当協会としては、会員皆様と一緒にコロナ禍においても実践できることを常に情報収集しながら新たな取組みにも挑戦して参りたいと考えておりますので、ご協力・ご提言をお願いします。

### 【役員一覧】

職名	氏名	企業・団体名及び職名
理事長	塩田 康一	鹿児島県知事(新)
副理事長	濱田 雄一郎	鹿児島県酒造組合 会長(新)
〃	木場 信人	鹿児島県PR・観光戦略部長
〃	森 博幸	鹿児島市長
〃	森 義久	鹿児島県商工会連合会 会長
〃	柚木 弘文	鹿児島県農業協同組合連合会経営管理委員会会長(新)



就任挨拶をする塩田新理事長

## コロナ禍でも出来る！新たな特産品PR方法 ～第2弾～

当協会では、新型コロナにより物産観光展の中止などの影響を受けた事業者の商品の販売機会を創出する場として、「どんどん鹿児島！かごしま特産品応援キャンペーン」を3月下旬より実施して参りました。これまで、サイトデザインのリニューアル及び機能の充実や大手ポータルサイトでの広告や利用者への特典企画など、様々な販促強化に努めながら本県特産品の魅力を伝えております。最近では、南日本新聞1面に出品企業・商品やECサイトに関する案内を広告掲載し、サイト上では、更なるラインナップ強化を図るため、これまで掲載品数1社2品の上限から無制限で掲載出来るように変更しました。

また、9月1日から「秋の美味しいキャンペーン」として、本県が誇る「畜産品」「水産品」「農産品」のいいところを詰め込んだ『応援福袋』を販売したところ、販売開始約1時間で完売した福袋もあり、「購入できずに残念だ」「また次回はないのか？」などといった嬉しいお問い合わせもあり、非常に好評で当企画の注目度の高さが窺えました。

なお、今回通販サイト「かごいろ」を立ち上げてから約6ヶ月が経ち、当協会としても出品者からの意見・要望の集約と売上動向の現状把握を行うため、出品者へアンケートを行いました。

<アンケート結果> ※掲載150社中62社が回答  
【掲載して良かったか】とてもそう思う…11社、そう思う…41社  
【意見・要望】

- ・消費者動向や、販売形態の見直し、結果、分析、評価、個別アドバイスなど些細なことでも発信してほしい。
- ・業者間等の意見交換や勉強会の開催を検討してほしい。
- ・これまでのサイトと比較し、とてもシンプル且つお洒落なサイトが出来ていると思う。今後は「かごいろ」が鹿児島特産品のメインサイトというポジションを築いてほしい。
- ・今のコロナ禍では「なかなか鹿児島島に旅行に行けない」「鹿児島島に帰れない」という人が多いと思われる中で、鹿児島島の美味しいもの、懐かしく感じられるものをアピールしてもらえたことは大変有難い。

など出品者からは、様々な率直なご意見をいただきました。当協会としても「期待と実績の差」や売れ筋商品情報(価格や取り組み方等)、個別商品のアドバイスなど、外部専門家とも連携・相談しながら、今後も支援して参りたいと思います。

### かこしまの逸品ワンストップサポート事業本格始動！

当協会では、県内食品製造事業者を対象に、各企業が抱えている経営課題に合った専門家を直接派遣し、経営改善・販路拡大などサポートするかこしまの「食」ワンストップサポート事業とWEBを活用した新市場でのサポーター作り、ブランド化・販路開拓を目指すクラウドファンディングでの特産品振興支援事業を始動しました。

8月7日には事業推進委員会を開会し、多数のご応募いただいた中から支援事業者（5社・5プロジェクト）を選考させていただきました。どの企業も非常に明確で熱い経営目標、目指すビジネスモデルが設定されており、自社の経営課題に向き合う意気込みを強く感じました。

かこしまの「食」ワンストップサポート事業では、㈱ビジネスアーチ伊藤氏による支援企業対象の「実践ビジネスセミナー」（8月27日）をオンライン（ZOOM）にて開催し、今後の事業内容の説明やこれまでの支援事例を参考にして各社の課題を解決するフォローアップ施策など、今後の個別相談に繋がるセミナーを行いました。

また、早速翌日から個別相談をオンラインで開催し、各社の経営・決算状況等を聴き取ったうえで、今後の数的目標設定や製造原価等の見直し、海外、百貨店などへの商流の確保等、今後取り組んでいくべき方向性が明確になった企業もありました。今後とも有意義な個別相談を順次行つて参ります。

なお、クラウドファンディング事業に関しても、具体的なプロジェクト内容や返礼品、スケジュールが決定し、来月のサイトリリスに向け、既に撮影が進んでいるプロジェクトもあります。海外展開や漁船のエンジン購入費を捻出するためのプロジェクトや、異業種がコラボすることで新商品への付加価値を生み出すプロジェクトもあり、今後の展開が非常に楽しみな事業となっております。

当事業は、今年度から3カ年の新事業となっております。毎年度、新規支援企業を募集予定ですので、皆様是非ご応募ください。



### 半年ぶりに物産展を開催しました

#### 松山三越百貨店にて「北海道&鹿児島 いっしょにふり」を開催！

##### 「半年ぶりの物産展の開催」

8月4日～8月13日の10日間、愛媛県松山市において「北海道&鹿児島 いっしょにふり」物産展を開催し、本県から22社の特産品製造企業が参加しました。

この催しは、松山三越の改装に伴う同店最後の物産展であり、人気の高い北海道展と鹿児島展の逸品が一堂に紹介されました。当催事は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で物産観光展等のイベントの中止が相次いでおり、当協会としても約半年ぶりの物産展となりました。

##### 「コロナウイルス感染防止対策」

7月末からのコロナウイルス感染拡大第2波の影響により、来店者並びに出展者の安全を守るため、次の感染防止対策を徹底して販売を行いました。

- 入館時の検温。毎日の検温・体調管理チェック表の提出。
- 手洗い・うがいの徹底。消毒液で手・指の除菌。
- フェイスシールド・マスクの着用。
- 試食・試飲、その場での量り売りの中止。
- 対面での金銭授受の中止。（集中レジ方式）

来店されるお客様は感染防止対策を行う事で安心して物産展を楽しまれたようですが、暑い時期でのフェイスシールド、マスクの着用は、出展者にとって厳しい環境での開催となりました。

##### 「テレフォンオーダーが人気」

来場できないお客様を想定し、テレフォンオーダー用の特別チラシを作成し、事前に顧客や店頭等で周知したところ、北海道と鹿児島合わせて32品目に約600件（鹿児島は約200件）の注文があり、例年の約3倍の注文がありました。

会場に行く事に抵抗のあったお客様が、リスクを冒さずに自宅で楽しむ傾向にあったものと想定されます。今後の催しでは、テイクアウト商品やECを併用したサービスなど、新たな商品や販売方法等も取り入れていく必要があると感じました。

##### 「今後の物産展やイベントについて」

コロナウイルス感染拡大により、8月は物産展やイベント等の中止が続いていましたが、感染拡大防止策を講じながら、全国的には徐々に開催されるイベントが増えております。

依然、お客様からは、イベントによる感染拡大を危惧する声はあるものの、早期開催を求める声も増えており、今後は「withコロナ」「ニューノーマル」の環境の中、会場や出展者（生産者）と知恵を出し合い、安心かつ魅力的な物産展等の開催に取組んでいきたいと考えております。



## 新しい生活様式に沿った体験を行いました

### オンラインにて伝統工芸職人のお仕事体験や工場見学会を開催！

毎年、小学生とその保護者を対象に製造体験や職人との交流を通じて、本県の伝統的工芸品への理解と認識を深めていただくため、マルヤガーデンズにて「かこしまの手仕事学校」を開催していましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から『オンラインZOOM』でのお仕事体験（8/22）と『リアルタイム（インスタライブ）での工場見学会』（8/29）を実施しました。

今回のオンラインでのお仕事体験では、小学生に「帖佐人形」と「竹工芸（竹とんぼ・風車作り）」を体験いただいたところ、実際に職人の間で体験しているような感覚で、時間を忘れて熱中する小学生もいるなど大変好評でした。

また、「薩摩切子工房」でのインスタライブ配信では、職人直々に製造工程の説明や配信中の質疑応答があるなど、普段体験の出来ない新鮮味のある工場見学となりました。ご協力企業からは、急遽、視聴者プレゼントをご提供いただくなどもあり、総視聴者数202名（配信時間約30分）と初の試みとしては、非常に注目度の高い配信となりました。

なお、今回当協会としてもオンラインでの開催は初めての試みであったことから、体験者への指導方法（伝え方）、

配信までの環境整備、カメラワークなど多数課題が見つかりましたが、今後主流となり得る新たな情報発信方法やビジネスの在り方としての可能性を大いに感じ、次に繋がる好事例となりました。

今後、若い世代に興味を持ってもらえるような取組み（配信）を進めて参りますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

#### 【体験した小学生の声】

- ・初めて作ったのでこれで遊ぶのが楽しみ。夏休みの良い思い出ができた。
- 【展覧者の声】
- ・画面越しでも小学生が楽しそうに作業してくれていたのがよかったです。
- ・インスタライブ（生配信）中に視聴者からの率直な感想・意見が聞けてよかったです。良い配信になり、次回配信のイメージができました。

#### 【インスタライブ視聴者の声】

・今年はコロナで帰省出来なかったのですが、鹿児島島の工芸品に触れられ有難かった。是非今後も続けてもら



ZOOM、インスタライブによる生配信

## 大学生が大島紬のチャレンジについて学びました

### 鹿児島大学「地域リサーチ・トライアル」「地域リサーチ実習」による出前講義及びフィールドワークを実施！

国指定の伝統的工芸品である本場大島紬の歴史・製作工程など紹介することにより、若い世代に本県工芸品への理解と認識を深め、地域の発展に寄与する人材を育成するため、鹿児島大学「地域リサーチ実習」「地域リサーチ・トライアル」履修学生を対象に、本場大島紬織物協同組合大瀬理事長による出前講義及び（尚）中江絹織物でのフィールドワークを実施しました。

今年度は、「大島紬における新しいチャレンジ」をテーマとし、生産技術・体制、流通、商品などそれぞれの段階での「チャレンジ」について講義を行っていただきました。大瀬理事長からは「業界の現状」や「伝統を残しつつ産業として発展していく必要性」など新理事長として、これからあるべき大島紬業界の姿について想いを込めた講義をしていただき、学生からも「商品開発の難しさはどこか」「商品の形体は変わっているが、製造工程は変えてはいけないのか」など率直な質問が多数あり、非常に関心深さが窺えました。

また、フィールドワークでは、

「生産技術のチャレンジ」として「機械織」の見学を行い、実際に学生が機械織の体験を行うなど、これまでの織機とは違う製法で織られる大島紬に感銘を受けていました。

今後も地域が抱える課題に対して解決策を提案できる人材を育成する取組みとして、現場の生の声を聴くことは重要なことだと思しますので、当協会としても人材・後継者育成を支援して参ります。



中江絹織物でのフィールドワーク



大瀬理事長による出前講義

## 会員紹介



(ミッキーマウスのキャラ弁当)

### 鹿児島・九州の駅弁を全国へ

株式会社松栄軒 代表取締役社長 松山 幸右 氏

昭和4年に出水市にて旧鉄道省公認出水駅汽車弁当店として創業した『松栄軒』（平成20年に法人化）。創業91年を迎え、約80名の従業員と一丸になって松栄軒の弁当を全国へ発信し続けているのが、当社代表取締役であり、6代目の幸右氏だ。

現在、出水市・鹿児島市・福岡市に主要拠点を構え、全国6都府県21カ所の販売先で鹿児島の素材を使った弁当を精力的に展開中。また、近年では駅弁のみならず、鹿児島純心女子短期大学と産学連携協定を結び、鹿児島ユナイテッドFC応援弁当の開発や公認スポーツ栄養士が選手の栄養サポートをコンセプトに監修した「勝星弁当」など他業種とも連携を図りながらコラボ弁当を開発している。

しかし、このような事業展開に積極的で、永年の経営ノウハウを持つ企業でさえも、このコロナ禍の影響は甚大なものとなった。県内、首都圏の人の往来が制限され、鉄道利用客の激減に比例し駅弁販売数・売上高も当然に減少した。そして、工場の製造ラインも稼働を縮小せざるを得ない状況が続いたという。

今、松山社長はこのような状況でも、新たなビジネスモデルの構築、新たな販売機会を創造する良いチャンスと捉え、イベント・販売企画など前向きに模索している。例えば「生活応援ワンコイン！しょうちゃん弁当（500円）」を企画したり、月1イベントで行う「ドライブスルー弁当販売」については、車で1時間の行列ができるぐらい好評イベントとなっている。更には、駅弁業者では全国発となるウォルト・ディズニー・ジャパン社とライセンス契約を結び、容器にミッキーマウスを採用したキャラ弁当を開発した。この弁当は、年間4万食販売を目標に掲げ、東京駅や舞浜駅でも販売される予定であり、企業の周知度アップ、販路拡大への起爆剤になることが大いに期待される。

今後、松山社長は「これからも出水市、列車と共に歩み続け、60歳になるまでに売上高100億円企業にすることが目標」と意気込み、今後も従業員と共に更なる飛躍に向け、邁進していく。

## 特産振興支援員奮闘記

### 特産品が持つ魅力の再発見と製品開発に向けて

特産振興支援員 工芸品担当 米藏 優



今年4月に特産振興支援員として着任した新米です。約40年間を県の技師、指導員、研究員等の技術職員として技能技術の指導と開発に携わっておりました。その任期中には専門分野をより深く、それ以外の分野でも浅くても広い技術体得を心掛けてきたつもりです。技能を伴うモノ作りで作品の完成度を高めるためには、ある特定の専門知識も必要ですが、通常では全く縁のない異業種分野からの応用も功を奏した幾度かの経験で、各種分野技術の必要性を強く認識してきました。鹿児島には全国に誇れる優れた工芸品がたくさんあります。また伝統的な原材料・技術・技法を保ちながら、現代のライフスタイルに合うように、改良・進化を続ける伝統的工芸品も数多く存在しております。

しかしながら特産振興支援員として、これまで巡回訪問させていただいた事業所の皆様は、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響による需要の急速な冷え込みなどに苦慮されており、一方では時代に即応した商品開発の必要性を強く痛感し、奮起奮闘されている状況が見受けられます。これからはできるだけ多くの事業様を巡回させていただき現状調査や情報収集をしながら、各商品の魅力・特徴の抽出と整理をしたいと思っております。その結果を踏まえ、異業種分野のコラボや新商品開発に微力ながらもお手伝いできるように努めていきます。そのことが、鹿児島県特産品の良さを広め、多くの方々の興味を深めていただき、ブランドの一層の振興を高めるといった大きな目標に近づくのではと思っておりますので、よろしくお願いたします。

## 池田専務理事退任ご挨拶

このたび、9月末日をもちまして鹿児島県特産品協会の専務理事を退任いたしました。

在職中は、会員の皆様はもとより国内外の各地で周囲の方々に支えられて充実した気持ちで仕事をすることができました。ここに厚く御礼申し上げます。

特産品は「地域に根差した生活文化であり、人ありて輝く」モノとの想いで、だた、ひたすらに走り続けた36年でもありました。

突然の新型コロナウイルス感染症の流行は、経済活動に大きな影響を及ぼし長期戦を強いています。一変した社会生活を元に戻すのではなく、より良いものに進化させる機会と捉えて、これまでの取り組み(強み・弱み)を再検証し、業界(地域)が連携して乗り切っていただき、これまで以上の成果が出ることを期待しています。

「新しい風は、それに先立つ時代なしには生まれえない」と感じています。

あらためて、これまで賜りましたご厚情に深謝しますとともに、皆様方のご活躍を心からご祈念申し上げます。

令和2年9月30日

公益社団法人鹿児島県特産品協会  
専務理事 池田 誠

## 協会インフォメーション

### 1. 「2020かごしまの新特産品コンクール」出品商品募集！

多様化する消費者ニーズに対応した売れる商品づくりを促進するため、「2020かごしまの新特産品コンクール」(主催:かごしまの新特産品コンクール実行委員会(構成員:鹿児島県・鹿児島市・当協会))を下記のとおり開催いたします。

今回は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、出品点数は1企業または個人につき、各部門1点のみとし、規模縮小しての開催となりますが、このコロナ禍でも特産品のPR、販路拡大の絶好の機会となりますので、皆さまのご出品をお待ちしております。

#### 1. 審査会

①日時:令和2年11月30日(月) 9:00~15:30

【食品部門】

一次審査(午前の部) 9:00~11:30

(午後の部) 12:00~14:30

二次審査 14:50~15:30(非公開)

【工芸・生活用品部門】

一次審査 10:00~12:30

二次審査 13:00~13:40(非公開)

②会場:鹿児島サンロイヤルホテル2階(高隈の間・太陽の間・開間の間)

2. 応募締切 令和2年10月30日(金)当日消印有効(FAX不可)

3. お問合せ・申込先

公益社団法人鹿児島県特産品協会 ブランド支援センター

〒891-0821 鹿児島市名山町9-1

TEL:050-3539-1080 E-mail:k-contest@k-p-a.jp

※詳細および申請方法については下記よりご確認ください。

<http://www.k-p-a.jp/concool-info/concool-news/11889/>

### 2. 「イタリア×かごしまグルメフェア」を開催します！

今回、(株)山形屋と当協会では、日本とイタリアの都市間で初めて締結した「鹿児島・ナポリ」姉妹盟約締結60周年」を記念して、下記の日程で標記フェアを開催いたします。

このフェアでは、ワインと相性の良い本県食材を活かしたイタリア風創作料理や加工品など新たな食を提案しますので、皆様のご来店お待ちしております！

会期:令和2年10月14日(水)~10月19日(月)の6日間 ※営業時間:午前10時~午後7時

会場:山形屋1号館6階大催場